

「日本オートプシー・イメージング (Ai) 技術研究会」から学会設立に向けて

CLINICAL REPORT

日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会 会長 | 阿部一之

日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会(The Japanese Society of Autopsy imaging and Technology (JSAiT))を2019年5月に設立して活動してきた。死因究明や身元調査のためにAiを活用して、我々が技術的な面から社会に還元していくための学会設立について述べる。

The Japanese Society of Autopsy Imaging and Technology (JSAiT) was established in May 2019 and has been active. Using Ai for investigating the cause of death and personal identification, we described the establishment of an academic society to give back to society from a technical point of view.

はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応とともに死因究明に貢献するオートプシー・イメージング(Ai: 死亡時画像診断)で日夜献身的にご活躍している皆様に敬意を表する。

2019年5月、Ai(Autopsy imaging: 死亡時画像診断、以下Aiという)における各種の画像検査、画像処理、画像管理の最新技術を活用して最適な画像情報を提供し、読影補助により社会貢献に寄与することを目的として2019年5月に日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会(The Japanese Society of Autopsy imaging and Technology (JSAiT))を設立した^{1~3)}。

全国からAiに興味を持ち、さまざまなフィールドで積極的に取り組んでいる24名の運営委員とともに総会、学術大会、

13の共同研究班による研究活動の発表、「COVID-19対策およびAi実施状況に関する緊急アンケート調査」を茨城Ai研究会、九州Ai研究会と合同調査を実施、調査結果を公開して医療現場に重要な情報を提供することができた。またこれらを含め「第15回医療の質・安全学会学術集会」企画シンポジウム公募型に応募して採用され、本研究会が企画して発表した。このような研究会活動を通じてAiの発展に寄与してきた。

2021年、総務省行政評価局から「死因究明等の推進に関する政策評価書」と厚生労働省から「死因究明等推進計画」が発表され、死因究明制度におけるAiの位置付けが明確になり、Aiに従事する診療放射線技師の役割と期待度が大きくなってきた。このような状況を踏まえ、研究会の名称変更にもなる学会設立に向けた取り組みについて述べる。



図1 日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会ロゴ

日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会の歩み

本研究会の目的として①学術集会の開催、②Aiの撮像技術等に関する研修会の開催、③Aiの撮像技術等に関する研究・